

平和への願いをこめて・・・

先日 11 月 12 日（火）5 時間目に、1 年生から 6 年生までの縦割り班で構成されるなかよし班活動で「おりづるの会」が行われました。「おりづるの会」は、本校の人権教育の柱としている平和学習の一環として、おりづるの意味を知り、平和を願い、全校生徒でおりづるを折る会です。

まず初めに、6 年生が「折り鶴の旅」という絵本の読み聞かせをしてくれました。「折り鶴の旅」は、広島で被爆した主人公禎子の悲話をきっかけに、折り鶴が平和への祈りを込めて世界で折られるようになった経緯が語られるお話です。その後、一人 1 枚の折り紙に、平和への願いを書き留め、心を込めて折り鶴を折りました。「みんなが仲良く過ごせますように」「争いがなくなりますように」「笑顔で過ごせますように」一人ひとりが、自分の言葉でしっかりと想いを込めて書きました。

本校では、6 年生で広島へ修学旅行に行きます。広島の地で、平和について感じ、考える大切な学習です。本校では、6 年生までに、学年に応じて「平和」について考えていきます。1 年生は絵本「へいわってすてきだね」の読み聞かせ、2 年生は道徳「ぞう列車がやってきた」の学習、3 年生は絵本「8 月 6 日のこと」の読み聞かせと国語「ちいちゃんのかげおくり」の学習、4 年生は絵本「すみれ島」の読み聞かせと、国語「一つの花」の学習、5 年生は道徳「焼き場に立つ少年」の学習を通して、平和であることの大切さについて考えていきます。そして 6 年生では、歴史学習や、国語「平和の砦を築く」の学習を通して、より一層、平和への想いを高め、広島に向かいます。今回、想いを込めて折ったおりづるは、6 年生がみんなの想いと共に広島へ届けてくれました。

平和学習は、戦争というものが、たくさんの人の命を奪う恐ろしいものであるということや命の学習であり、また物事を争いで解決するのではなく、対話することで解決することの大切さを学ぶ学習でもあります。6 年間でその感覚をしっかりと身につけていけるよう積み重ねていきたいと思っています。

12 月 4 日から 10 日は人権週間です。神戸祇園小学校でも平和学習を柱に各学年様々な視点から人権教育を進めます。子供たちが、生きていることのすばらしさを実感し、成長していることへの喜びを感じられるようになってほしいと願っています。

人権週間のこの期間にぜひご家庭でも話題に挙げていただけたらと思います。

人権教育担当 近江岸 真衣



指定学校の変更について

神戸市では、住所地により定められた校区の小学校（指定学校）に通学していただいています。しかし、相当な理由がある場合は、指定学校の変更ができる場合があります。（例えば、「年末に隣の校区に転居するが、3月に卒業予定なので、思い出のある今の学校で卒業したい。」など）。

指定学校の変更を希望される場合は、学校へご相談ください。なお、指定学校に関する詳しい基準や手順については、神戸市ホームページに掲載しています。

【神戸市ホームページ <http://www.city.kobe.lg.jp/child/school/areal/kouku/>】